

新春所感

午

2026年

地域経済循環の推進を目指して

袋井商工会議所 会頭 豊田浩子氏



皆さま方には、晴れやかな新年をお迎えの事と、心よりお慶び申し上げます。

昨年は我が国において初の女性首相が誕生するなど、社会の多様性と変革を象徴する出来事がありました。経済面では、物価高や円安の継続、最低賃金の引き上げ、消費者の節約志向の高まりが企業収益や地域消費に影響を及ぼしました。静岡県内でも景況感

は横ばいながら、アメリカの関税政策など外的要因による先行き不安が指摘されています。地域経済に目を向けますと中小企業・小規模事業者の業況判断DIは依然としてマイナス圏にあり、昨年の倒産件数は年間1万件を超える見込みとなるなど厳しい状況が続いています。原材料費や人件費、エネルギー価格の上昇に対して価格転嫁が進まず、利益圧迫という構造的な悩みが深刻化しています。

一方で、積極的な投資に踏み切る企業も増えており、そのうち約6割が「人的投資」を実施しています。これは健康経営や女性活躍の推進など、働きやすい職場環境づくりを通じて企業の持続可能性を高める動きであり、地域の未来を支える重要な潮流と捉えられます。

袋井商工会議所では、3月に「第5期中期行動計画」の発表を予定しております。新たな計画のもとでも、「企業のために」「地域のために」「組織のために」の3方向に基づく活動方針は変わる事なく、地域経済の持続的な発展に向けて取り組んでまいります。

「企業のために」では、デジタル化による生産性向上、事業再構築、収益力回復、事業承継、創業支援など、自己変革を促す取り組みを伴走型支援で全力サポートしてまいります。昨年も「袋井市中小企業及び小規模企業振興基本条例」に基づき、市と連携して企業の挑戦を後押ししました。また、経営革新計画の認定においては、令和元年度より6年連続で静岡県経営革新推進賞を受賞し、高い評価を

いただいております。

「地域のために」では、第6弾となる「ふくろい応援商品券」事業を通じて地域内循環を創出し、経済活性化に貢献しました。さらに、協会けんぽ静岡支部との連携による健康経営の推進、女性の社会参画を支える施策など、人的投資を通じた持続可能性向上に取り組んでおります。

「組織のために」では、会員・役員・議員の皆さまのリーダーシップのもと、青年部・女性の会の活発な活動を通じて効率的な組織運営とサービ

ス拡充に努めております。昨年実施した「こんにちは商工会議所です」強化月間では、多くの会員企業の声を伺い、今後の施策に反映する貴重な機会となりました。

袋井市の夏の風物詩“ふくろい遠州の花火”は、今年7月25日(土)に開催を予定しております。昨年は袋井中学校、パソコン部による演出や、声楽家・三浦環をテーマとしたプログラムが話題となりました。本年は3年に1度の国際オペラコンクール開催年であり、三浦環没80年の節目でもあります。さらに充実した企画と安心・安全な大会運営に向けて準備を進めておりますのでぜひご期待ください。

本年も、商工業の繁栄を図るとともに、地域福祉の増進と経済発展に寄与する諸活動に取り組んでまいります。引き続き、袋井商工会議所事業活動へのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。